

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2017年4月1日～2023年3月31日の期間に当院にて大腸癌と診断され、手術療法を受けた患者さん			
② 研究課題名	ヒト大腸癌における IMPDH2 の発現量と局在の検討			
③ 実施予定期間	2023 年 6 月 ～ 2025 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	佐田 春樹	所属	外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	田代 裕尊	所属	呉医療センター 外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 当院で手術した大腸癌パラフィン切片を薄切し、IMPDH2 の発現を評価します。 また、発現パターンと臨床病理学的因子との関連を評価します。 また、残余検体から RNA を採取し qRT-PCR(定量 PCR)で評価します。 収集する情報項目:使用したサンプル症例の、Stage, T 因子, N 因子, 予後, 再発, 腫瘍マーカー ※上記診療情報は、研究終了後 5 年間もしくは、研究結果の公表後 3 年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	癌では GTP 代謝がリプログラムされ、また GTP エネルギーを感知するシステムがあり、その生理的な機能や役割の解析が進んでいます。大腸癌においても、GTP 代謝が大きく変わっていることが示唆されており、この大腸癌で変動した GTP 代謝は、GTP 合成の鍵酵素である IMPDH2 の発現量と局在が一つ関与している可能性があるため、免疫染色（免疫蛍光）、定量 PCR により評価します。			
⑨ 方法	当院で手術した大腸癌パラフィン切片を薄切し、IMPDH2 の発現を評価します。 また、発現パターンと臨床病理学的因子との関連を評価します。 また、残余検体から RNA を採取し qRT-PCR(定量 PCR)で評価します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023 年 5 月 17 日		
	院長承認日	2023 年 5 月 17 日		
⑪公表	個人情報保護は確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	佐田 春樹	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 外科			

呉医療センター院長